

5年算数「平行四辺形と三角形の面積」

第5時(9時間取り扱い)

三角形の面積の公式を作る
見通しを持つことができる!

本時の授業の概要

前時において考えた三角形の面積の求め方をもとに、三角形の面積を求める公式を作る。三角形の面積を求めるためにはどこの長さが分かるといいのかを考え、公式にまとめ、三角形の面積の求め方の理解を深める。

本時の目標

三角形の面積を求める公式を考えることができる。

活用場面

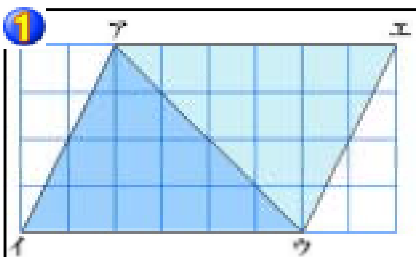
課題発見

見通し

一般化

まとめ

習熟

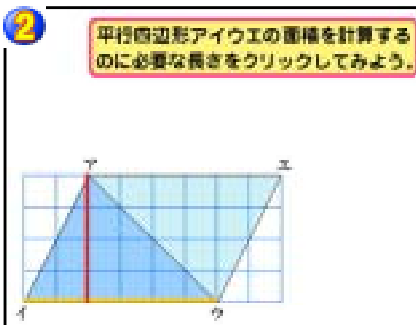


三角形の面積を求めるときは、どこの長さが必要なのかを確認する

2 T : 三角形の面積を求めるためには、どこの長さが
必要ですか。

C : (実際にさしながらか)ここ(底辺)とここ(高さ)
T : 三角形の面積を求めるには、2つの長さがわかる必要
があります。この2つの言葉を使って式を作ること
ができませんか。

三角形の面積の公式を作る



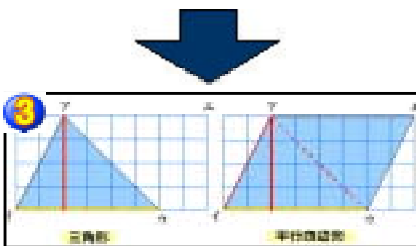
3 T : 求める三角形の面積は、右の平行四辺形の面
積のどれだけになりますか

C : 半分

T : 半分にするためには平行四辺形の面積をどうすれ
ばよいですか。

C : 平行四辺形の面積を2でわればよい

T : それを言葉の式にあらわしましょう。



【ワンポイントアドバイス】

三角形の面積を求め方を考えるとき、図形の操作に
陥り、どこの長さを使っているのか意識していない
場合がある。どこの長さを使っているのか、ていね
いに扱いたい。

解決の見通しを持つことができない児童は、最後ま
でデジタルコンテンツを見せずに自分で取り組ませ
ることも1つの方法である。

【サイト情報】

http://kids.gakken.co.jp/campus/academy/amagasaki/h13-14c/ontents/vol1/p93_01.html

(尼崎デジタルコンテンツ研究会)